

ハード事業

ソフト事業

※本事業計画案は現時点（令和7年3月17日）でのものであり、今後、国及び関係部署との調整や本市の財政状況等を踏まえ、変更となる可能性があります。

資料3-3

整備の段階	基盤整備								価値の磨き上げ	価値の最大化
	前期事業期間 (令和8～15年度)								後期事業期間 (令和16～25年度)	将来
時期	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
全ゾーン共通	公有化									
	説明板・誘導標識									
	多媒体での情報発信・ガイドボランティア創出・育成									
	公有化や整備の状況に応じ、動線計画の随時見直し									
	パンフレット作成									
政庁ゾーン	造成工事(盛土・張芝・排水設備・居久根)									
	広場整備・遺構表示①(政庁等・サイン・便益施設・カラー舗装等)									
	遺構表示②(石組池や花壇等を市民参加型による整備)									
	体験型イベント									
正面ゾーン	基本設計・実施設計									
	造成工事(盛土・張芝・排水設備・便益施設)									
	遺構表示①(材木列等を市民参加型による整備)									
寺院ゾーン	体験型イベント									
	公有化の状況を踏まえ、遺構表示②(材木列の立体整備)等を検討									
寺院ゾーン	既公有化地において碎石敷・張芝等を検討					公有化の状況を踏まえ、造成・整備等を検討				
	給水施設・既存トイレ維持管理									
その他ゾーン	保存・公開・活用施設整備の検討									
	遺構復元・遺跡解説スペースの内容拡充									